

I ミッション(地域社会における自校の使命)

生涯を自立的に生き抜き 未来を切り拓く力を育成する教育の推進

II ビジョン(目指す学校像)

笑顔あふれる 安全・安心な学校
 確かな学力、豊かな心、健やかな体が育つ学校
 児童・保護者・地域から信頼される学校

【学校教育目標】

すすんで行動し、みんなとともに伸びる子どもの育成

【めざす児童像】

気付く子 考える子 行動する子

【めざす教職員像】

- ・教育に対する使命感をもち、誠実に職務を遂行する教職員
- ・一人一人のよさや可能性を伸ばす教職員
- ・組織の一員として協働する教職員

III 現状分析

【確かな学力】

- 令和7年度標準学力調査（東京書籍）の平均正答率は、以下の通りであった。
 （赤は、目標値を上回ったもの）

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	70.5	73.5	75.3	75.5	65.9	67.5
算数	85.3	65.3	70.0	74.8	52.1	69.4

- 児童アンケート「学習の進め方や解決の方法について自己決定しながら学んでいる」の肯定的回答割合は89.2%であった。
 ○基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るとともに、個別指導やグループ学習、自由進度学習や自己決定の場の設定などにより、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進し、児童の学力及び学びに向かう力が向上しつつある。

【豊かな心】

- 概ね目標値を維持し、児童に社会性が身につくつつある。（児童アンケート肯定的回答割合）

近所の人や家の人に挨拶をしている。	96%
授業の始まりや休憩時間等、時間を守って行動している。	95%
自ら進んで掃除をし、学校をきれいにしている。	87%
自分には、よいところがある。	88%

【健やかな体】

- 令和7年度の体力運動能力調査において県平均以上の割合は、長座体前屈…55%、立ち幅跳び…47%であった。瞬発力及び柔軟性を高める運動に取り組む必要がある。
 ○児童の生活リズム調べ(R8.1)において、早寝82%、早起き77%、朝食摂取率96%であった。早起きについては、6時30分までに起きることが難しい児童が一定数いる。

【信頼される学校】

- 保護者の理解を得て、学校満足度が保たれている。（保護者アンケート肯定的回答割合）

学校だよりやHP等で子どもの様子がよく分かる。	97%
学校の教育方針を分かりやすく伝えている。	98%

IV 目標及び取組

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
【確かな学力】 児童の学びに向かう力を育成し、学力の向上を図る。	基礎的・基本的な知識及び技能の定着	校内で重点指導内容を設定し、期間を定めて重点的に取り組む。 重点指導内容とドリルタイムの学習を関連させ、基礎的・基本的な内容の定着を図る。
	思考力・判断力・表現力の向上	キーワードに印を付ける等、文章の正しい読み取り方を全教科で指導し、身に付けさせる。また、考えを表現する場を意図的に設定する。
	学びに向かう力の育成	授業で得た知識及び技能や、思考したこと等を振り返りとして書くことができるよう指導する。
【豊かな心】 児童の豊かな心を育成する。	自己肯定感の育成	適切な児童理解と肯定的な評価を行い、児童が「自分にはよいところがある」と考えられるようにする。
	社会性の育成	教職員自身が見本となる行動をし、児童に「気持ちのよい挨拶をする」「時間を守る」「一生懸命掃除をする」習慣を身に付けさせる。
【健やかな体】 児童の体力の向上を図る。	体力・運動能力の向上	体育科の授業や業間運動で筋力や柔軟性を高める運動を取り入れ、「長座体前屈」と「握力」に関する体力・運動能力の向上を図る。
	基本的生活習慣の定着	生活時間を意識させ、健康の保持増進のために生活調べを行う。(早寝、早起き、朝ごはん)
【信頼される学校】 信頼される学校づくりを推進する。	学校満足度の向上	安全・安心な学校づくりを推進するとともに、開かれた学校を目指す。
	学校における働き改革の推進	業務改善を図るとともに、時間外勤務が45時間以内になるよう、意識して校務に取り組む。